



市辺地区まちづくり協議会広報誌

いちのべ

万葉のまち 市辺

第71号

令和7年4月



第3回 蒲生野万葉フェスタ
鷹匠体験や船岡山野外音楽フェス



発行：市辺地区まちづくり協議会 / 東近江市市辺町2391
市辺コミュニティセンター内 TEL&FAX 050-5802-3392

Facebook



就任ごあいさつ

陽春の候、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は市辺コミュニティセンターの活動にご支援、ご協力を賜りありがとうございます。

この度、4月より木田館長の後任としてコミュニティセンターの館長を仰せつかりました辻善英でございます。学校現場には長くおりましたが、社会教育の場は初めてのことで戸惑いと緊張でいっぱいの毎日です。

また、念願の市辺コミュニティセンターが新設されて、初めての館長ということで身が引き締まる思いです。

住民の皆様の憩いの場や集いの場、また会合や様々な行事など、地域の情報発信の役割を果たすセンターを目指して、微力ではございますが、館長として日々一生懸命に取り組んで参りたいと思います。そしてコミュニティセンターが皆様にとって身近な場所として「ちょっと寄って行こうかな」と思っただけのセンターを目指していきたいと思っています。

皆様、どうかよろしくお願いいたします。

市辺コミュニティセンター
館長 辻 善英



退任のご挨拶

このたび市辺コミュニティセンター館長を退任させて頂きました。多くの方々との出会いで楽しく過ごさせて頂き、ありがとうございました。

令和元年には住民の皆さん方による「総合エリア研究会」を発足し市政20周年の記念すべき年に新コミセンの着工に至りました事は館長冥利に尽きるところで御座います。新コミセンには住民の皆さんが自由にふれあえるホールがあり、交流の場や憩いの場として賑わうことだと考えます。

また、就任中には新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が出されるなど皆様方には大変ご心配をおかけ致しました。その渦中に第2層協議体「市福みらい会議」を立ち上げて頂き、地域福祉情報誌「つながり広辞縁」の発行で地域の出会いの場の棚卸しもでき、多くのふれあいの場を再確認する事ができました。

新しいコミセンでのまちづくり活動に更に磨きをかけて頂くとともに、皆様のご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

令和7年3月31日
木田 行男



「市福みらい会議」と「市辺地区住民福祉活動計画推進会議」合同会議開催

3月7日「市福みらい会議」と「市辺地区住民福祉活動計画推進会議」のメンバーで合同会議を開催しました。

「市福みらい会議」では2回のアンケート結果の共通点として、近所のつながりを大事にし、気軽に交流できる機会や集える場所、一緒に誘ってくれる声掛けなどがありました。

「推進会議」からは、野菜の“おすそ分け”を通じた共助、“よってみてカフェこぼし”が高齢者の知り合える場となっていることなどの報告がありました。



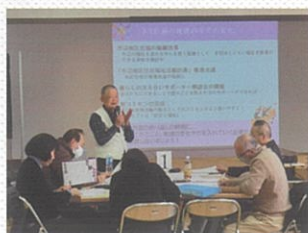
グループ懇談会では、コロナ過で「人と人との“つながり”」、老人会・婦人会もなくなったことで自治会同士の交流も薄くなった。若い方は近所同士のお互いさまが育たなくなってきたなどの意見がでました。

今ある“つながり”を大事にすること、“つながり”を発見すること、広げることの必要性を再認識しました。

「市福みらい会議」「推進会議」の登り口は違いますが目指す頂上は同じですので、今後も協働・連携しながら実践していきます。

新コミセンでは、地域活動の拠点として、“つながり”を大事にしていきたいと考えています。

市福みらい会議 座長 谷 精一郎



「多賀結いの森」の取り組みから公民館新設の多賀町を訪問

3月25日に多賀町中央公民館「多賀結いの森」に研修に行きました。中央公民館では、現在新コミセンで検討しているフリースペースの活用を実践されています。目的や人数に応じてさまざまなサークル活動や打ち合わせ、世代を超えた交流、居心地よく、ふらりと立ち寄りたくなるような公民館を目指しておられます。

「市福みらい会議」もフリースペースを有効に活用できるよう参考にしていきます。



多賀町中央公民館のフリースペース活用

西市辺町に「勸請縄看板」を設置

西市辺町の木戸口に勸請縄の看板を設置しました。木戸口(村の裏鬼門一坤(ひつじさる))に当たる所で若宮神社から南西の方角、道路に面する場所です。

一年を通じて地域と地域の方々の安全と五穀豊穡を願い掲げられたものです。

その目的はほぼ同じですが、村によって形状等特徴があります。

西市辺町の場合、勸請縄を二本の支柱の高い位置に掲げられているのが特徴です。

道路に面し自動車からも勸請縄本体が目立つ場所で、右側の一段高い処に並んで相之神、山ノ神、杉野神の石碑も有り一帯は集落の祈りの場所となっている。

今日まで引継がれてきた歴史や文化に興味をお持ちの皆様、身近な勸請縄巡りをされては如何でしょうか？

歴史・文化部



「わくわくコラボ村」に参加して

去る2月22日、能登川コミュニティセンターで「わくわくコラボ村」が開催されました。市内の各種団体が活動を紹介する場に参加し、私たちの活動状況を発表しました。

安全安心部では、「減災かるた」を実施し、園児から小学生まで親の手を引っ張って参加してくれる姿が多く見られ、あっという間に80名の予定数に達し、大盛況



でした。子どもたちの生き生きとした姿に、減災の取組みの未来に確信を持つことが出来ました。

また自然環境部では、活動の基本である「木製コンポスト」の改良品を展示し、足を止めてくれたお母さん世代に使用方法や効果について、部員の皆さんが熱の入った説明を行いました。

生ごみの地球温暖化に与える影響についても、今一度考えていただく時間になったと感じました。

安全・安心部

自然・環境部



蒲生野万葉フェスタ

3月30日(日)午前11時から午後3時30分
万葉の森 船岡山公園において「第3回 蒲生野万葉フェスタ」が開催されました。「鷹匠(たかしょう)体験」や「第5回 船岡山野外音楽フェス」などを楽しみました。



部会だより

安全・安心部

今年度も昨年とほぼ同様の活動を予定しています。具体的には、以下の通りです。

- ①防犯パトロール(夏期・年末)に参加
- ②防災無線での減災啓蒙活動(毎月月初)
- ③「減災連絡会議」への参加
- ④AED講習会開催(令和8年2月)
- ⑤「市辺地区ふれあいフェスタ」での出店
- ⑥減災かるたの出前授業
- ⑦「わくわくこらぼ村」出店
- ⑤～⑦では、『減災かるた』を通じて楽しみながら減災知識の啓蒙活動ができればと考えています。

歴史・文化部

2年前に発注した「市辺地区鳥瞰(ちょうかん)図」が出来上がり、これを新しくなるコミュニティセンターの玄関正面に掲げられます。歴史文化部会ではこの「鳥瞰図」に関係することを令和7年度の主な事業として計画しています。

先ず、市辺れきし発見塾を8月に開催し、講師は「鳥瞰図」の制作者の松井先生を予定しています。

次に、「鳥瞰図」をクリアファイルにし、地区の歴史文化の再発見に活用したいと考えています。さらに「鳥瞰図」の基点は布施山の上空から観たものであり、これを体験する布施山ハイキングを11月頃に予定しています。

毎年開催している「中山道を歩く」は、武佐宿から守山宿になりますが、この行程は距離が長く、また非常に交通量が多いため参加者の体力や安全面での不安が残り、見直しも含めて検討中です。

昨年度計画だけに終わった「市辺地区の神社行事のDVDの試写会とフォーラム」を来年1月頃に開催を予定しています。

自然・環境部

毎年の園児のいも掘りは「園児自身で苗を植え、また畑に出向いて生育を観察したい」との希望が有り、園児たちが手掛けた苗の生育と、収穫の楽しみと共に、環境を守る大切さを学ぶ機会にしたいと思います。

部活動も機会あるごとに、資源の大切さ、温暖化防止についても、訴えていきたい。

今年度の「活動予定」

- 5月 いも苗植え
- 7月 コンポスト作製
- 10月 いも掘り
- 11月 コンポスト展示、渡し

来年 2月 わくわくコラボ村フェア(於:能登川)に参加、PR活動を行う。

子ども健全育成部

地域の子どもたちが興味を持ち、楽しんでくれるよう、令和6年度も色々な行事を実施しました。「夏祭りの花火大会」をはじめ、秋の「ふれあいフェスタ」、中でも春の「蒲生野万葉フェスタ」での射的コーナーでは、たくさんの子どもたちを楽しんでいただきました。

今年度も子どもたちの興味、関心のある事柄に目を向け、地域の皆様にも楽しんで頂けるような、活動に努めたいと考えておりますので、なお一層のご協力をよろしくお願い致します。

健康・福祉部

令和6年度の事業として、11月に布施公園で「シニア健康グランドゴルフ大会まち協会長杯」を参加者70名で実施、また、コロナ過で途絶えていた講演会も実施し44名が参加されました。

今年度はまだ具体的に決まっていますが、昨年と同様に健康づくり(運動)と健康管理(講演会)、社協やコミセンと共催の「よってみてカフェこぼし」「ご長寿ふれあいサロン」などを予定しています。フレイル予防にもなりますので皆様の参加をお待ちしています。

地域活力部

令和6年度は、6月29日(土)に万葉の森船岡で美化活動をおこないました。思っていた以上に綺麗に活用されているので感心しました。

10月には、市辺ふれあいフェスタの舞台準備係として参加しました。天候にも恵まれ絶好の秋日和となり、たくさんの方が来場されました。

なお、本年度の活動予定は、現在検討しております。

あなたのペットを紹介してください

- 投稿の条件 市辺地区の住民
- 掲載事項 ペットの写真とペットの名前
ペットの紹介のみ
お名前は「イニシャル」
- 投稿の要件 住所・氏名・電話(連絡用につき非掲載)
写真の被写体はペットのみ
写真はメールに添付(またはメモリーで)
- 注意事項 ペットは投稿者が飼育されているもの
掲載の時期ならびに可否の決定は広報部
- 投稿の方法 スマホやパソコンから送信またはコミセン
050-5802-3392にご連絡下さい。
アドレス ichi-kouho@e-omi.ne.jp

編集後記

春の訪れと共に、新年度が始まりました。春はセンバツから…今年の選抜高校野球は、2018年第90回大会に近江、彦根東、膳所の3校が選ばれて以来の複数校出場となり、滋賀学園と滋賀短大附属が選出されました。

残念ながら両校共に秋季大会で大阪1位2位校を破った普段の力が発揮出来ず、桜の開花を見ることなく散ってしまいました。残念…。T.N